

明徳の行



木の個性

校長 大関 政子

若葉の緑が美しい季節になりました。1年生は、バス通から歩き通学に切り替わって難儀な様子も見えますが、がんばって歩き、ずいぶん学校にも慣れてきた様子です。昼休みの校庭や体育館では、学年や男女を問わず一緒になって子どもたちが遊んでいます。時々、先生も一緒です。私たちもここにこして見えています。

中川小学校の体育館は、昭和10年の改築です。以来、加治川堤防の決壊にも新潟地震にも耐え、71年間もずっと子どもたちを育んできました。この間、床や屋根の葺き替えはありましたが、柱や梁はまだ健在です。天井の木組みがそのまま見える体育館は、古いけれど木の持つ温もりと懐かしさを感じます。

天井を見上げていたら、宮大工の西岡常一さんのことを思い出しました。西岡さんは、法隆寺など古いお寺の修復や再建を果たし、「最後の宮大工の棟梁」と言われた人です。木のことなら何でも知っていて、『木は、くせで組め』が口癖だったそうです。西岡さんは、『木のいのち、木の心』という本の中でこんな話をしています。

「千年生きた木は、切って柱にしても千年経っても生きている。法隆寺は、世界で一番古い木造建築で、千年以上も経っているが、その柱に鮑をかけると今でもプーンと生きた檜のいい匂いがする。木の命は考えられないほど長いものだ。」

「木にはそれぞれ個性がある。特に、個性の強いくせのある木ほど、命も強く、長持ちする。一本一本、その木のくせを見極め、最適な組み合わせを考えることだ。」

「山の中腹から上の方、峠のところに生えている木は、日光を浴びてしっかり育っているし、風や嵐に打たれて苦しみながら強く育っているのだから、強い柱に使える。反対に、谷間の方で育った木は、水分も多く、養分も十分なので素直に伸び伸びと育つ。しかし、日光はあまり差し込まず、風も弱く嵐もそれほど強くないため、くせもない代わりに強さもない。だから柱には使えず、板として使う。」

このことは、私たち人間にも同じように当てはまりそうです。つらいこと、苦しいこと、困難なことには、できれば出会いたくなく、のんびりと毎日が続けば楽しいことばかりです。しかし、困難なことやつらいことに会ったとき、実は心が強くなり、しっかりした自分ができているということです。苦しいことから逃げるのではなく、しっかり受け止める 때가、私たちの成長するそのときなのだと思います。

一見すると同じように見える木でも、個性があるのです。その場所の自然を受け止めて生きているのです。その生きる姿から、私たちはいろいろなことを学ぶことができます。風薫る5月、山や森へ出かける機会が増えるでしょう。こんな目で、周りの木や緑を見るのも、また面白いと思います。

委員長任命式。校長先生から任命書をいただいて、決意を一言。



学校マニフェスト発表

4月21日の教育振興会総会では、校長から「学校運営の基本方針」と「グランドデザイン」。知・徳・体の各主任からは昨年度までの成果と本年度の目標、その手立てを説明しました。その概略だけ、紹介します。



	昨年度までの成果	本年度の目標	手立て
学力向上 (石井 麗子)	<ul style="list-style-type: none"> ○CRT 学力テスト。国語・算数とも、全学年で全国平均かそれ以上。 ○算数で、約8割の子がわかったことの説明等ができるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 全校テスト、1から4年生は80%以上、5・6年生は70%以上が合格する。 算数で、進んで問題を解こうとする子を80%以上にする。 地域の良さを感じ、進んで地域の方々と関われる子を80%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 全校テストを毎月実施。チャレンジ計算、チャレンジ音読を継続。意欲を持たせる3段階の問題、練習の工夫。 「発見する喜び」「分かる喜び」を感じる授業の工夫。 生活科、総合的学習の時間で地域の方々と関わる授業の開発。
心育成 (石井 尊)	<ul style="list-style-type: none"> ○人間関係力の育成。96%の子が異年齢集団活動を楽しんでいる。 ○生命尊重の評価で、全児童がBかAになった。 ○「学校が楽しい」と答える子が90%以上に。 	<ul style="list-style-type: none"> 異年齢集団活動を楽しむ子を90%以上にする。 「他者を思いやることのできる」子を90%以上にする。 「命を大切にしている」子を90%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいが深まる活動内容を充実、地域の人とも交流する。 思いやりの心を育てる道徳授業を公開、心のノートの活用、ボランティア運動の推進。 「生命の尊重」にかかわる授業を充実させる。
体力向上 (佐藤 睦)	<ul style="list-style-type: none"> ○体力テスト6項目全国平均上回った児童46%。 ○歯磨き・朝食習慣は90%以上。80%が生活習慣チェックで向上。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に運動に取り組む子を80%以上に。 体力テストで6項目以上全国平均を上回る子を46%以上に。 生活習慣で向上が見られる子を80%以上に。 	<ul style="list-style-type: none"> 「親子チャレンジ」を毎学期実施。 体育授業で、「水泳」「鉄棒」「二重とび」で目標を設定。達成できるように授業改善。 ご家庭と連携。「よい生活習慣は外遊びから！」

5月下旬の主な行事紹介

- 5月9日(火) 登校指導...職員が危険箇所で指導。職員朝会で情報交換。改善していきます。
- 11日(木) チャレンジ計算...毎週木曜日に実施。1年から6年まで、シーンとして計算に取り組む様子は、壮観です。
- 18日(木) ふれあいタイム...木曜日は清掃なし。たっぷり使える昼休みに、5種類の活動を行います。今回は、レッツゴーグループで遊ぼう。縦のつながりを深めます。
- 25日(木) チャレンジ音読...毎月最終木曜日。児童が音読を発表します。今月は2年5年が発表。みんなの前で音読を聞かせる、度胸がつかますね。
- 31日(水) 全校テスト(算数)...3段階の練習と問題。今回、お子さんはどのレベルを選ぶでしょう。聞いてみてください。



4月20日 1年生を迎える会
6年生、ありがとう!お礼を言う1年生

